

サイエンスに踊らされて

〇ン十年

サイエンスものづくり塾

エンジンの会

華井 章裕

1. 科学工作の部

- 巨大万華鏡
- 四次元からの水
- パイプオルガンとホバークラフト
- からくり万華鏡
- 写取る万華鏡
- 空気法

NPO法人

サイエンスものづくり塾

エジソンの会

News

No. 6 | H. 17. 9. 30



「巨大万華鏡」がお嫁入りをしました

関市百年公園北口 高さ7Mの勇姿を披露!

先の「News 7号」でもお知らせしましたように、あの巨大万華鏡が関市の百年公園へお嫁入りをしました。8月7日の『さいえんすふえすていばる IN 柳津 2005』で皆さんにあの素晴らしい勇姿を披露した後、瑞浪市にある「サイエンスワールド」で8月20日から2週間預かっていただきました。20日、21日に実施されたサイエンスフェスタの2日間で約2,000人の観客に見ていただきましたが、その後の10日間で何人のお客様に見ていただけたことでしょうか。

そして、運命の9月3日(土)、百年公園へ引っ越しました。解体と組み立てを繰り返すこと3回目になるだけに、棟梁の廣瀬弘さんを始め、坂井田定雄さん、杉山雅一さん、奥村主穂さんの皆さんは手慣れた様子でした。要する時間は解体・組み立てともに1時間もかかりませんでした。その手際の良さには感心するばかりです。



しかし、今回は、今までと違って屋外への設置です。上の写真は百年公園事務所から送っていただいたものですが、さすがプロですね。台風の風にも倒れないように支えがつけられていますし、雨露もしのげるように工夫してあるようです。左の写真は万華鏡の内部です。

その後、巨大万華鏡はマスコミに登場します。9月15日午後6時10分NHK-岐阜放送のニュース番組の冒頭に全体像と内部の様子が15秒ぐらい紹介されました。そして、中日新聞の中濃版にも関百年公園に「NPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会」から寄贈された、とカラー写真付きで紹介されました。事務所の所長さんは「これから遠足シーズンになるので、小学生が見てくれると思う」と喜んでおられました。

< 併章共華：責文 >

< 文責：華井章裕 >

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 51 H. 24. 9. 11



サイエンスフェスティバルIN境川

今年も盛況でした 次は11月18日(日)

ぎふサイエンスフェスティバルで



オープニング・テープカット

あるように『満願(願いがかなう日)』の数字です。それだけに『15』よりも『14』の方が似合っているかな、と思う次第です。また先の話ですからかなり不透明ですが・・・。

今年のフェスティバルはやや観客が少なかったような気がしますし、メニューもややマンネリ化してきたような気がしますね。とはいえ、初めて出席された岐阜市教育委員会の早川教育長や科学館の小森館長にとっては驚きだったようです。これだけの規模のイベントを行政の指導を受けることなく、各種の団体が積極的に生き生きとして活動していることを賞賛されておられました。もちろん、秋に予定される



『パタパタでよろしく』も登場

『ぎふサイエンスフェスティバル』の成功を期待しての言葉でしょう。それもこれもすべて『歴史』なんですよね。実績だけはよその団体に負けないものがありますから・・・。

今回も我々のNPOは大活躍でした。写真にあるように久々に『四次元からの水』を登場させましたし、『パタパタでよろしく』も登場しました。これは11月の『ぎふサイエンスフェスティバル』にも展示する予定ですが、その後は柳津小学校に預かってもらえないかなと思っています。

右の写真は昨年につき『サイエンスショー』を実施したものです。今年は「液体窒素の極低温の世界」でしたが、昨年より観客が多かったように思いました。私たちにとってはいつもやっているサイエンスショーですが、地元の方にはあまり機会がなく、大変楽しく見て頂けたようです。もっともどこでもそうですが、子ども達より大人の方が物珍しくて楽しかったようです。当然ですよ。大人の人たちが子どもの時代にこういったものを見る機会はほとんどなかったのですから。



久々に『四次元からの水』



化学マジック・見えない糸

<文責：華井>



今年も写撮る(シャトル)万華鏡

広告の掲載は予定外 『岐阜市咲楽』9月号

長くやっているといろいろなことが起こるものです。雑誌『岐阜市咲楽』の担当者から8月31日メールが届き、「広告を出してもらえないか」とのことでした。ご存じの通り、私たちのNPOはなけなしの金をはたいてギリギリの会計をしていますので、広告なんぞ出せるはずがありません。そんなにお金を使うくらいなら材料費を安くするべきだと思っています。その旨書いて送ると、広告料は要らないから載せさせてくれといわれたのでOKを出しました。

翌日、中部学院大シティカレッジの出前講座を早速取材してくれて、その日の夜には記事ができあがりました。以下がその広告です。担当者自身が「大変楽しい講座でした」と言いながら、スーパーボールのおもちゃを持って帰りました。

せっかくの機会なので、当方もこのあと一般の方が参加できるイベントを紹介しておきました。10月27日の『岐阜市まるごと環境フェア』（JR岐阜駅前北口・信長像前）、11月11日の『HAPPY DAY』（ハートフルスクエア）、11月18日『ぎふサイエンスフェスティバル』（岐阜市文化センター）、12月22日『青少年のための科学の祭典』（岐阜市科学館）です。

会員の皆さんも是非ご協力ください。参加をお待ちしています。

九月のサイエンスものづくり倶楽部
【第九十回】
○月 日 九月十五日(土) 午後七時より
○会 場 岐阜市柳津公民館北館第4学習室
○会 費 二百円
○メ ニ ュ ー ・ 未 定

親子で学べる! 身近なものでサイエンス!

イベント情報

- ぎふサイエンスフェスティバル11/18
 - [場所] 岐阜市文化センター [時間] 10:00~16:00 [参加費] 無料
 - 小・中学校、高校その他の先生が、約40種類の実験ブースを出展!
- 岐阜市まるごと環境フェア HAPPY DAY 11/11
 - [場所] 岐阜駅北口 [場所] ハートフルスクエア
 - サイエンスショー、もの作りブースなどイベント多数
- 青少年のための科学の祭典 12/22
 - [場所] 岐阜市科学館
 - サイエンスショー、もの作りブースなどイベント多数

NPO法人 サイエンスものづくり塾 **エジソンの会** e-mail: ahanai871@wh.commufa.jp http://www.wb.commufa.jp/edison/science
☎058-279-1384 住: 岐阜市柳津町上佐波 代表: 産井章裕

発泡スチロールで表札作り

夏休みが終わりましたね。宿題が片づいていない子はいませんか。今からでも間に合う作品づくりを一つ。発泡スチロールは熱に弱く、熱にあうと縮んでしまいます。しかし、PVA(ポリビニルアルコール)のりや水溶液を塗ると、その部分は熱を伝えにくいので縮むのを遅らせられます。

この性質を使って表札を作ってみましょう。凸凹のある立体的なものができますよ。

作り方

- PVA入り合成洗剤のりを少量、プラスチックコップに取り、水性絵の具を溶いておきます。
- 発泡スチロール
- 電熱器

PVAのり使い立体的に

発泡スチロール板は、火の近くでかさざざないと凹(へこ)みません。近くだと瞬間に凹みます。火を扱うので大人といっしょに行い、火災ややけどに注意しましょう。また、PVAのりは衣服や畳に付くと取れにくいので注意しましょう。

(NPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会代表・産井章裕)

② PVAのりを筆につけ、発泡スチロール板の表面に文字や絵をかきます。

③ PVAのりが乾ききらないうちに発泡スチロール板の表面を電熱器や卓上コンロのガスの火にかざします。

④ PVAのりを塗ったところは縮みにくいので、文字や絵が浮き上がって見えます。

注意

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 19 H. 19. 9. 5



今年も「さいえんすふえすていばるIN柳津2007」 大好評 3500人もの人で溢れる



今年も8月5日(日)、「さいえんすふえすていばるIN柳津2007」が開催されました。1999年から開催しているこのイベントも9回目を数えます。今年のステージは、「富田学園ギターマンドリン部」の演奏と「天保宮下太鼓」・「岐阜響太鼓」の演奏でした。富田学園のアンコールではかつての顧問である磯部さんの指揮で「シバの女王」を演奏してくれたり、宮下太鼓は太鼓を抱えながら踊ったりしてくれました。また、岐阜響学校は昨年より少ない部員数でしたが、もっと上手でしたし元気のある演奏でした。ハンディを持っていても負けずに活躍している様子は、私たち参加者に「元気」を分け与えてくれました。

我々のNPO法人は、写真のように3つのブースを提供しました。廣瀬弘さんと坂井田定雄さんの「パイプオルガンに挑戦！」



はまさにプロの技。家具調の風合いといい、音の調節具合といい、さすがです。この後サイエンスワールドの「サイエンスフェスタ」でも展示しましたが、大変良い評価をいただきました。また、昨年に引き続き「ホバークラフトに乗ろう」は大会議室で人気を博しましたし、「ポンハゼは水蒸気爆発だ」も奥村主穂さんと竹市勲さんのお力で、たくさんのお客に喜んでいただきました。さらには、会員それぞれがいろいろなブースの出店に協力していただいていた。「さいえんすふえすていばるIN柳津」あつての我がNPO法人かなと思えました。

イベント全体としては、昨年より幾分少ない37というブース数でしたが、昨年より多い3,500人という多くの観客に負けない内容でした。いつもご協力いただいている子ども会育成会や女性の会・アハハの会、食改協柳津支部の皆さん、青少年育成市民会議の皆さんなどが支援し、楽しみにしていただいているおかげではないかと思えます。そして、参加していただける皆さんの笑顔が輝いているからでないでしょうか。

<文責：華井章裕>

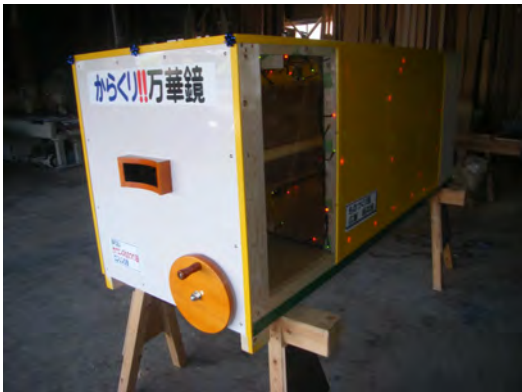


NPO法人
サイエンスものづくり塾
エジソンの会
News No. 37 H. 22. 6. 5



今年もやります!!

12回目の「サイエンスフェスティバルIN岐阜柳津」
今年の制作作品は『からくり万華鏡』



今年は「からくり万華鏡」

今年も『サイエンスフェスティバル IN 岐阜柳津』は8月の第1日曜日、1日10時から柳津公民館で実施されることが決まりました。例年のように、柳津青少年育成市民会議を始めとして柳津・鶉・且格の各小学校、境川中学校、羽島北高校、岐阜工業高校、岐阜豊学校、聖徳学園大学、附属小中高校、岐阜市科学館などの共催で実施します。



昨年のオープニングセレモニー

私たちNPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会では平成16年の『四次元からの水』以来、毎年広瀬弘さんと坂井田定雄さんが展示作品を作ってきました。インターネットの「ウィキペディア」に誰かが掲載してくれた『巨大万華鏡』（関百年公園に寄贈）、今もリクエストが舞い込む『ホバークラフトに乗ろう』、どこか嫁入り先を探している『パイプホンを鳴らそう』、このところ出番の少ない『コロコロ君とコロコロちゃん』、そして昨年は『パタパタでよろしく』まで6作品を数えます。いずれも広瀬さんの「匠の技と工夫」と坂井田さんのアイデアを結晶化させた素晴らしいものばかりです。広瀬さんたちは「ものづくり工作班」だと遠慮されていますが、科学館では見られないこだわりと工夫がいっぱい込められています。

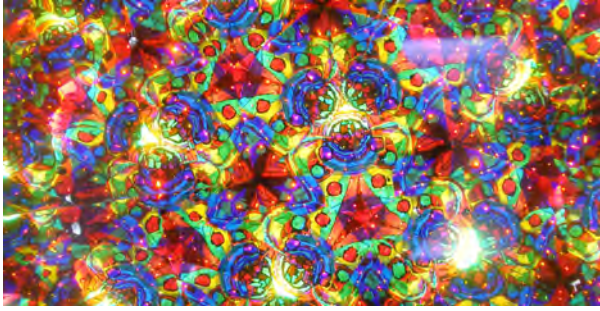


制作中の広瀬さん・近藤さん

さて、今年の商品の紹介ですが、見出しにもあるように『からくり万華鏡』です。現在ほぼ完成のようですが、こだわりは『横置き』・『移動式』・『手回し』です。上の写真に見られるように手で回すハンドルが付けてあります。その中身は右の写真のようになっていました。手彫りで丁寧に切り込んだ歯車がびっしり並んでいます。確実に滑らかにかつ楽に回せるように、いろいろ試行錯誤の結果です。このハンドルで横置きの万華鏡本体を回転させます。

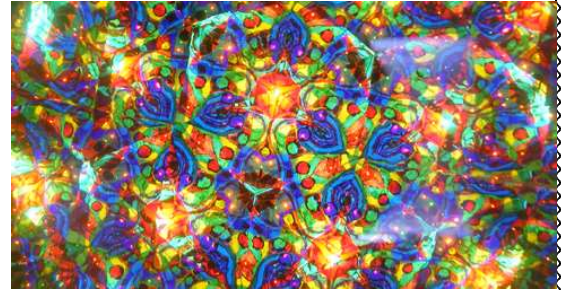


手彫りで刻まれた歯車がびっしり



のぞき窓から見たある瞬間の画像

万華鏡の奥のいろいろな模様を描かせる円盤は坂井田さんの担当でした。アクリル板を丸く切ってスタンドグラス風にセロハン紙で色づけをしました。さらには、クリスマスなどで使われる電飾用のLEDを取り付け、いろいろな光を点滅するようにセットしました。それを覗いた様子が左と下の写真です。このアクリル板も実は



前面のハンドルに

連動して回転しますので、いつもいつも違った画像が見られます。

広瀬さんの構想はこのスタンドグラスの空間にある『生き物』を住ませることです。私などは『宇宙を遊泳する○○』と名付けたらどうかと提案しているのですが・・・その結果は当日までお預けにしましょう。



プリクラ万華鏡

さて、広瀬さんの構想はまだまだ広がります。左の写真を見ていただきましょう。これは西尾市のガラス工芸科学館で写したもので、写された本人は気づきもしなかったのですが、反対側から写真にすると何となんと不思議なものができあがりしました。これをヒントに『プリクラ万華鏡』を作ろうとしています。例によって奥ゆかしい広瀬さんはヒョットしてできないといけないから「できたら作ろうか」とおっしゃっています。
 <文責：華井>

これからのイベント 夏休みに向けてどっさり

6月		7月		8月	
6日 (日)	関ヶ原中央公民館	10日 (土)	リバーサイドモール『サイエンスフェスティバル』	3日 (火)	岐阜市青少年ルーム
12日 (土)	海津市今尾小学校	11日 (日)	輪之内町文化会館	4日 (水)	岐阜市東青少年会館
19日 (土)	リバーサイドモール『サイエンスフェスティバル』	17日 (土)	たるい『サイエンスフェスティバル』	5日 (木)	岐阜市東青少年会館
	サイエンスものづくり倶楽部		サイエンスものづくり倶楽部	7日 (土)	養老町図書館
20日 (日)	関市百年公園『菖蒲祭り』	18日 (日)	美濃市州原ふれあいセンター	11日 (水)	各務原市鶴沼第2小
26日 (土)	関市瀬尻小学校『ワクワクサイエンス』	19日 (月)	瑞穂市巢南正蓮寺・神戸町柳瀬子ども会	15日 (日)	リバーサイドモール『サイエンスフェスティバル』
27日 (日)	リバーサイドモール『サイエンスフェスティバル』	23日 (金)	30日 (金) 岐阜市青山青少年会館	22日 (日)	神戸町新屋敷公民館
7月10日 (土)	リバーサイドモール『サイエンスフェスティバル』	25日 (日)	郡上市高鷲北小『わくわくサイエンス』		
11日 (日)	輪之内町文化会館	28日 (水)	各務原市東山子ども会		
	中部学院大『かがくさんすうアカデミー』	29日 (木)	羽島市竹鼻公民館		
17日 (土)	たるい『サイエンスフェスティバル』	31日 (土)	岐阜市阿弥陀寺子ども会		
	サイエンスものづくり倶楽部				
18日 (日)	美濃市州原ふれあいセンター				
19日 (月)	瑞穂市巢南正蓮寺・神戸町柳瀬子ども会				
23日 (金)	30日 (金) 岐阜市青山青少年会館				
25日 (日)	郡上市高鷲北小『わくわくサイエンス』				
28日 (水)	各務原市東山子ども会				
29日 (木)	羽島市竹鼻公民館				
31日 (土)	岐阜市阿弥陀寺子ども会				
8月3日 (火)	岐阜市青少年ルーム				
4日 (水)	岐阜市東青少年会館				
7日 (土)	養老町図書館				
12日 (木)	神戸町公民館				
21日 (土)	岐阜市城西公民館・うすずみ温泉四季彩館				

六月のサイエンスものづくり倶楽部
 【第六五回】
 のご案内
 六月十九日(土) 午後七時より
 岐阜市柳津公民館大会議室・調理室
 ○会場
 ○会費 二百円
 ○メニュー
 ・サラダ油キャンドル
 ・ビー玉万華鏡を作ろう
 ・フィルムケースでウグイス笛

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 52 H. 24. 11. 3



ぎふサイエンスフェスティバル

11月18日(日) 岐阜市文化センターにて

エジソンの会から7ブース



三輪先生作のイメージカット

以前からお伝えしてきたように、「ぎふサイエンスフェスティバル」が11月18日(日)岐阜市文化センターにて10時から16時まで開催されます。岐阜市教育委員会の安藤前教育長に持ちかけて決まったイベントだけに、我々エジソンの会としては全力を挙げてフォローしなければなりません。現教育長を委員長とする実行委員会が構成され、杉山さんが監事として参加しています。私華井は事務局で裏方に徹することとしました。

で、会としては総勢15人が7つのブースを展開することになりました。坂井田正光、竹村竜太郎、高橋浩子さんが『写撮る万華鏡』、近藤勇、坂井田定雄さんが『ビー玉の逆さごま』、丹羽敏朗、日比野きみ江さんが『サラダ油キャンドル』、杉山雅一、小川博史さんが『くるくるレインボー』、広瀬弘、竹市勲さんが『らせんのモビール』、眞田直子、小澤雅子さんが『コピックで指のレプリカ』、磯部好史、伊藤美知子さんが『三角すいの万華鏡』と私たちNPOのメンバー総動員で出掛けます。もちろんポスターやチラシ、当日配布のマニ



広瀬さん苦心の作『空気砲』



まるごと環境フェア・ステージ

ュアル集の表紙は私たちの仲間三輪弘文さんの担当です。

当日は、岐阜大学や聖徳学園大学・岐阜工高専・岐山高・岐南工高・岐阜工高・各小学校・各公共団体などから52ものブースが出店します。子ども向けの「ものづくり実験」から高専や高校の研究発表に近いものまでいろいろあり、大人でも楽しめるものとなりそうです。

さらには、午後2時から2階小劇場で2008年のノーベル物理学賞受賞の名古屋大学特別教授の益川敏英さんが、「科学にロマンを求めて」と題して講演されます。こちらは事前の申し込みが必要ですが、無料です。市内の小中学校すべてに10,000部のチラシを配っているはずですよ。

<文責：華井>



松枝小・写撮る万華鏡で写そう

2. イベントの部

- サイエンスフェスティバル in 柳津
- ぎふサイエンスフェスティバル
- 柳津緑道公園どんとこいまつり
- 柳津科学実験教室 エジソンを目指せ
- 乗鞍青年の家 グリーンフェスティバル
- 名古屋市でんきの科学館
- 子どもと科学技術の架け橋
- サイエンスものづくり倶楽部

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 11 H. 18. 8. 25



今年も「さいえんすふえすていはるIN柳津」

今年もあわただしく夏が過ぎ去っていきました。この「News」も5月に出して以来、久しぶりの発行となりました。この間、お伝えしたいこと、お伝えしなければならぬことが多々あるのですが、何しろ「忙しくて、忙しくて」で月日が流れてしまいました。申し訳ありません。お許してください。

さて、お伝えしなければならぬことの第1は『さいえんすふえすていはる IN 柳津 2006』の実施です。



今年で8回目を迎える

フェスティバルは、参加者の数は3,000人ぐらいだろうと思いますが、何よりも参加ブースの多さでしょう。その後に行われた瑞浪のサイエンスワールドで実施された「サイエンス・フェスタ」でさえ30ブースだったといえますから、柳津の規模の大きさは特筆に値すべきものでしょう。

そして、我がNPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会「ものづくり班」（いつからそんな班ができたの？）の今年の出し物は、上の写真のように『ホバークラフト』です。近藤勇さんの発案が実を結び、坂井田定雄さんの血の滲むような努力奮闘研究、広瀬弘さんの神懸かり的な芸術魂と技能により、体重80kg超の重さにも耐える「乗れるホバークラフト」が完成しました。昨年巨大万華鏡



も素晴らしかったのですが、今年のはそれに匹敵する作品でした。「もう来年はないぞ」と当事者はおっしゃっていましたが、その時期になればまた期待できるのではないかと思います。

その隣で「CDのホバークラフト」を作っていたのが、小川博史さんたちのOB会でした。本当は眞田直子さんたちがやりたかったようですが、今年は譲ってもらったとのこと。また、私にとって良かったことは岐阜豊学校の太鼓を聞いていただけたことです。子ども達を理解していただけたこと、子ども達が自ら触れあいをもてたことに感謝しています。

<文責：華井章裕>

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会



News

No. 53 H. 24. 12. 19

ぎふサイエンスフェスティバル

2,500人もの観客で終日あふれかえる

材料切れのブース続出



くるくるレインボーは大人気



らせんのモビールは1番早く完売

2,500人以上の人が集まるのですから、岐阜の中心部の開催

であれば当然のことと思われる。岐阜市としては初めての企画だけに、心配する向きもあったようですが、来年の開催を11月23日(土)と決めているようで、次回は参加者がもっともっと増えるものと予想されます。



三角すいの万華鏡づくり

我々の出展した「らせんのモビール」「くるくるレインボー」「三角すいの万華鏡」「ビー玉の逆さごま」「サラダ油キャンドル」「コピックで指のレプリカ」「写撮る万華鏡で写そう」はいずれも予定した数以上の観客が押し寄せ、時間調整をしなければなりませんでした。ボランティアで参加いただいた岐大の学生さんや徹明公民館の女性の方々も目の回るような忙し

さにたぶん驚かれたことと思います。

見ていると参加している子ども達は当然ですが、子どもの手助けの保護者の方が一生懸命になっている様子もチラホラ見られました。私が教えている現役の高校生も参加して、いくつかのものづくりをしたようで「楽しかった」と言っていました。実際、ものづくりは楽しいし工夫することはもっと楽しいことで、こうしたイベントがもっとたくさんの方々に理解されると嬉しいですね。

<文責：華井>



コピックで指のレプリカ

サイエンスものづくり塾

エジソンのま つろみん



第 9 号
令和5年5月9日

青空のもと 4年ぶりに『ドンこい祭り』

ヘリコプターからお祝いの花束投下



ヘリコプターから花束投下

スライム作りは大盛況

前号までの縦書きスタイルは編集しづらいので変更します。お許ください。

おひさしぶりです。このところ活動が停滞していましたが、心機一転再開しましたのでお送りします。

どうやら新型コロナのまん延に目途がついたようで、平常の生活が戻りつつあるようです。こんにちわ。ご無沙汰しています。



スライム作りはいつも大人気

ゴールデンウィークの真っ只中の5月5日、我が家の真ん前、岐阜市柳津町緑道公園で『びどんとこいこい祭り』が4年ぶりに開催されました。

そしてかつてのNPO法人のときの仲間が13人ボランティアで集まってくれ、この行事に『科学は楽しいお遊び』を展開しました。午前10時にヘリコプターからお祝いの花束が投下され、合計7つのメニューで子どもや親子をもてなしました。芝生の広場はいろいろな催し物がっぱいで、集まった人々は3000人になったでしょうか。

竹市さんとの柘植さんはシャボン玉飛ばしを担当しました。青空と鯉のぼりが舞い踊る中、風があってシャボン玉はよく似合いました。



鯉のぼりの下で

スライム作りは今回も大人気で、杉山さん、後藤さん、武山さん、小川京子さんはてんてこ舞いでした。おそらく200人以上の人だったでしょうか。違う色のを作りたくて何度も並んだ子がいたのでしょうか。



行列ができて大忙し

広瀬美陽さんは紙飛行リングを担当しましたが、全然客が来ないとボヤいていました。体育館の中でやるときにはいつも長蛇の



フライトスピンは超人気

スタッフがたくさんになったので急遽加えました。50ほど準備しましたが、直ぐになくなりましたね。広瀬さんと日比野さんが担当しました。



ペットボトルの空気砲・ストローで竹とんぼ

広瀬さんが苦心して準備していただけた『フライトスピン』は大人気でした。風に乗ってよく飛びましたし、子どもたちにとって適度に難しく、苦勞すればよく飛ばせるのが魅力な

行列ができるのに、不思議です。たぶん風が強く飛ばす快感が得られなかったからではないでしょうか。ひよっとしてもっと楽しい物があつたのか。

奥村さんと坂井田さん、小川博史さんは『ストローで竹とんぼ』と『ペットボトルで空気砲』づくりです。小さな子どもが手のひらを合わせてトンボを飛ばす姿は微笑ましい物です。

『らせんの不思議・トロフルックス』は当初の予定にはありませんでしたが、



らせんの不思議・トロフルックス

小澤さんが奮闘し、手の空いた人で手伝いました。かくいう小生は『あっちにフラフラ、こっちでオシャベリ』で過ごしていました。申し訳ありません。

【華井】

今年の **柳津サイエンスフェスティバル** は

8月20日 の予定

さて、行事が1つ終わると次の行事の日程が気になります。

もう24回目の開催になりますか。恒例の“柳津サイエンスフェスティバル”ですが、事務局では**8月20日(日)**の予定し言っています。また、“ぎふサイエンスフェスティバル”は**11月18日(土)**に予定されているように聞きました。かつての会員の皆様にはいずれご案内を差し上げますので、宜しくご協力をお願いします。

今後の出前授業の確定している部分は以下の通りです。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 6月23日 美濃加茂市蜂屋小学校 | 8月2日 美濃市公民館 |
| 25日 関市まなびセンター | 8日 瑞穂市本田小学校 |
| 7月2日 羽島市子ども会連絡協議会 | 9月18日 名古屋市でんきの科学館 |
| 17日 瑞穂市巢南町正蓮寺 | 10月14日・15日 高山市乗鞍青年の家 |
| 29日 養老町図書館 | |

【すべて仮の予約です】

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 26 H. 20. 7. 1

今年も好評でした

5月25日「柳津科学実験教室 エジソンを目指せ! VIII」



今年から「柳津科学実験教室 エジソンを目指せ」は、柳津公民館と我々のNPO法人の共同開催となり、期日も5月25日となりました。応募状況が思わしくなく少し心配でしたが、各教室とも親子15組以上の方が集まり、まずまずの盛況でした。



<小里先生>

大会議室では岡崎先生の「**レンズであとぼう**」でした。凸レンズや凹レンズの原理を学びながら、望遠鏡やカメラを作りました。簡単な原理で写真が撮れましたね。



<岡崎先生>

第2会議室では小里先生の「**光の進み方とビーズ顕微鏡**」で、高校生が使う顕微鏡を使って細胞や花粉を見ました。うまく扱えましたか。ペットボトルのキャップで作ったビーズ顕微鏡も、意外によく見えました。

第3会議室では宮西先生と野田先生が「**音と色の科学**」で、まず最初にサイエンスワールドでやる科学マジックを見せてくれました。「なぜ・なに」を発見できましたか。ムラサキイモパウダーで色が変わるホットケーキは美味しかったですでしょうか。

アンケートを見ると圧倒的多数の親子が、「楽しかった」「またやりたい」と答えていました。「科学の祭典」のように、自分の好きなものを楽しく短時間に実験するのも良いものですが、やっぱり落ち着いて先生の話聞きながら、少し難しいものを作って行くのも良いものだと思います。最後に、



<宮西先生と野田先生>

講師の先生方から「修了書」を渡していただきました。来年も開催できると良いと思っています。



<野田先生>

さて、毎年のように話題になっている『さいえんすふえすていばる』は10周年を迎えます。で、ちょっとリニューアルして『サイエンスフェスティバル IN 岐阜柳津 2008』になります。期日はいつものように8月の第1日曜日8月3日(日)午前10時から午後4時までです。いつもの岐阜市柳津公民館の館内すべてのホールと部屋で展開されます。ステージでは豊学校の「岐豊太鼓」や「天保宮下太鼓」などの演奏が予定されていますし、カップの会やアハハの会などいろいろな団体が協力してブースを出していただけます。私たちのNPO法人からもブースをいくつか出します。また、毎月実施している「サイエンスものづくり倶楽部」のメンバーからも出店したいと考えています。協力してくれる人は是非手をあげてください。

<文責：華井>

国立乗鞍青少年交流の場で

のりくらグリーンフェスティバル

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの



キラキラ万草鏡づくり

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの



くるくるレインボーづくり

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの



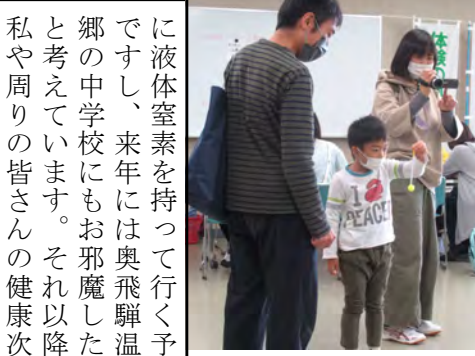
今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの



熱気球に乗りました

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの

今年も燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの
せめても燃費が余っているの



スーパーボールでジャンプ

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 46 H. 24. 2. 5



名古屋市でんきの科学館で

サイエンスショー「化学マジックの不思議な世界」

1月21日・22日



ミカン油で風船割り

サイエンスショーを依頼され、計6回実施しました。その様子の写真を掲載しました。21日は広瀬弘さんの、22日は磯部先生のアシストをいただきましたが、楽しそうでしょう。



見えない糸を引っ張ろう

程うまくはいきません。難しいですね。

あとはいつものように「時計反応」や「色の変わる反応」、「ペットボトルがペコン」などを見せて、最後はいつものように「泡泡泡」で終わりです。火が使えないので、「指が燃える」や「綿が燃える」なども省略でした。



パッと黒くなる時計反応

今月19日に福井県敦賀市の「あっとほうむ科学館」で化学マジックのサイエンスショーの依頼が入っていますのでもう1回やってきましょう。

<文責：華井>

節分寒波なるものがやってきて、このところ寒い日が続きます。皆さんお元気でしょうか。遅くなりましたが、新年あけましておめでとうございます。今年もエジソンの会へのご支援とご協力をよろしくお願いします。

さて昨年に引き続き、今年も1月21日(土)・22日(日)の2日間、名古屋市の『でんきの科学館』でサイエンスショーを実施しました。



電気クラゲで遊ぼう

いつもなら「ミカン油で風船割り」から始まるのですが、当日は2階で静電気の実験教室がありましたので、「電気クラゲで遊ぼう」からスタートしました。次は「コップの水が消える」、「紙コップがジャンプ」、「ペットボトルマジック」とやっていきますが、子ども達はワーワーキャーキャーと大騒ぎです。ここでいつもなら空気砲で遊んでもらうのですが、あいにく煙感知器の関係で使用禁止。今回は特別に広瀬さんに「リングキャッチャー」を指導していただきました。もちろん2日目は小生がやむを得ず自分でやりましたが…。広瀬さん



リングキャッチャー

NPO法人

サイエンスものづくり塾

エジソンの会

News

No. 110

R. 3. 3. 10



NPO法人子供と科学技術の架け橋 主催

本巣市弾正小学校で6年生のための講演



圧力の不思議

理科がわかればマジックがわかる

コロナ禍の緊急事態宣言が岐阜県では解除され、少しばかりホッとしているところです。とは言っても気の許せない日々が続きます。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。私どもの活動も1月は柳津小のみ、2月はなし、3月になって弾正小と蘇原第一小のみです。

さて、3月3日にNPO法人子供と科学技術の架け橋さんからの依頼で、本巣市弾正小学校でイベントを実施しました。今日付けの岐阜新聞に掲載されたようですが、このNPOは例年2校ずつ中学

校で大学の先端科学の先生を呼んで講演されていたようです。ところが今年はコロナの影響で実施できず、小学校でやることになり、私どもにおはちが回ってきたようです。

私どもは「先端科学を教える」なんてことはできず、小学生に「理科を嫌いにならないための実験を見せる」ことしかできないので、それでも良かったら、と引き受けました。もっともこの理事長が中学時代の恩師ですし、高校時代の恩師も理事になっておられるとあっては『いやも応もない』状況です。

前半はいつものサイエンスショーです。風船が爆発した時点で子供たちの自制がはじけ飛んでしまい、次々出てくる実験に大はしゃぎ。自分でやりたくなるのも当然でしょう。『コップの水が消える』『空き缶の爆発』『空気砲の不思議』『圧力の不思議』『色が消える』最後は『象の歯磨き粉』です。おまけにいずれ勉強するからと、一切解説はしませんでした。

後半はワークショップ。『スーパーボールでストロージャンプ』と『遠くへ飛ばそう紙飛行リング』です。



スーパーボールでジャンプ

簡単な材料で簡単に作れて、効果が抜群です。実際にやってみると思わず声が出ますし、飛んでいったスーパーボールやストローを追いかけます。紙飛行リングの飛ぶ距離に思わず感嘆の声を上げます。子どもも大人も同じです。『こんな材料で何を作るんろう』という発想から来る意外性が良いのかもしれません。しばらくは41人の子どもたちが走り回る姿で体育館が溢れていました。NPOの先生方に満足いただけたでしょうか。



校長先生も紙飛行リングを

《文責：華井章裕》

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 56 H. 25. 8. 30



サイエンスものづくり倶楽部

NPO法人になってから100回目の開催

親子26人の参加



簡単ジャム作り

NPO 法人を設立して早いもので10年になります。すると年間10～11回やっている「サイエンスものづくり倶楽部」の方も100回目を迎えることになりました。

7月20日(土)には親子26人が参加してお祝いに「簡単ジャム作り」と「振



アイスクリームを作ろう

るだけバター」で楽しみました。またちょうどテレビでやっていたという「フルーツサワー」を美味しくいただきました。メロンやスイカ、トマトやキュウリをドライアイスと一緒に5時間以上入れておきだけ、というものですが、さすがに少し酸っぱさがありますが、まあまあでしたね。

また、先日取材していただきました『まちむら編集局』から冊子を送っていただきましたので、皆さんにお配りしました。

<華井>

10周年記念事業は

奥飛驒サイエンスの訪問

高山市栴尾小・本郷小

8月9日高山市立栴尾小学校を、10日高山市立本郷小学校を訪問し、サイエンス教室を実施してきました。私たちの10周年記念事業にベルマーク教育助成財団のご支援をいただきました。

それぞれに夏休み中でしたので全員の子供たちを迎えることはで

きませんでした。参加した子供たちはどの子も目をキラキラ

させて、食い入るように見つめていました。『やってみたい』『体験してみたい』という気持ちはどの子も同じで、白菜をコナゴナにしたりバナナで釘を打つなどは好評でした。また、親さんや未就学児も参加した本郷小ではくるくるレインボーやプラバン、スライムなどのブースを回ってもものづくり実験を楽しみました。子供たちにすてきなプレゼントになったとしたら大変うれしいことです。来年からもこの時期に2校ずつぐらい順番に回っていけたら素晴らしいなど考えています。

<華井>



バナナで釘を打つ



くるくるレインボー

3. 表彰の部

- 岐阜県地域子ども支援賞

(ぎふ親子ほのぼの推進ネットワーク・子どもフェスタ)

- 生き生きシニア活動

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 22 H. 19. 12. 5

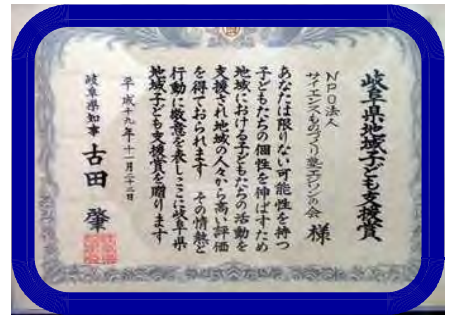


岐阜県知事より

「岐阜県地域子ども支援賞」受賞



11月22日(木)岐阜県民ふれあい会館において、「岐阜県地域子ども支援賞」の表彰式があり、我がNPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会も表彰されました。代表して理事長の奥村主穂さんが出席し、下の写真のような表彰状を岐阜県知事古田肇様からいただきました。また、岐阜新聞にも名前を挙げて紹介いただきました。



我がエジソンの会がNPO法人として正式に認可されたのが、平成16年8月でした。もちろん、そこに至るまでの活動は15年以上

上前に始まることはご存じの通りです。NPOになってからでももう3年になります。特に今年度の活動は目を見張るばかりで、その評価もますます大きくなっていることはありがたいことと感謝するばかりです。それもこれも一緒に活動していただける皆様、そしてご支援いただいている皆様のおかげと厚く感謝申し上げます。

さて、そんな我々の活動の中にも少しずつ変化が見られます。毎月1回活動している『サイエンスものづくり倶楽部』です。11月はニューフェイスが2組も現れました。しかも、地元柳津の方ではなく、インターネットで我々のホームページをご覧になって申し込まれた方です。インターネットって時代の先端に行くもので、我々にはやや縁遠いかなという感じでしたが、いよいよそんな時代に我々も突入せざるを得ないよう



です。稚拙ながら「ホームページを作っておいて良かったな」と思

いました。まだの方は是非ご覧ください。アドレスを入力するよりは、検索エンジンを使って「NPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会」で調べてもらえばすぐ出るはず。裏面へ



NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会



News

No. 71 H. 27. 10. 2

ぎふ親子ほのほの推進ネットワーク

”子どもフェスタIN高鷲”に参加しました



チェーンソーアート

9月27日郡上市の高鷲北小学校へ行ってきました。ここは毎年夏に『わくわくサイエンス』でお邪魔していた学校です。今年は体育館の改修工事のため、この時期になってしまいましたが、たぶん14回目の訪問です。



絵本の読み聞かせ

で、今年は趣向を変えて「ぎふ親子ほのほの推進ネットワーク」の主催の『子どもフェスタ IN 高鷲』を開催しました。この会は岐阜県知事から「子ども支援賞」の表彰を受けた人が作るネットワークで、県から補助金をいただいて

岐阜県知事から「子ども支援賞」の表彰を受けた人が作るネットワークで、県から補助金をいただいて県内のいくつかの場所で地域子育て力向上の連携推進を図るものです。実はいろいろ変遷があって、昨年からは華井が会長を引き受けており、昨年は高山東小へお邪魔しましたし、今年はこの後、奥飛驒の柘尾小（11月29日（日））、岐阜市の長良小（1月23日（土））が予定されています。



ツリークライミングに挑戦

子どもたちにとってメニューは新鮮で、中島さんと吉村さんの「絵本の読み聞かせ」に始まって、高山の上田さんの「チェーンソーアート」「ツリークライミング」や塚原さんの「がりがりトンボを作ろう」がありました。で、私は丹羽さんの協力を仰いで、「くるくるレインボー」と「バランストンボを作ろう」「ビー玉の逆さごま」を紹介しました。その様子は写真の通りですが、チェーンソーアートの上田さんはさらに腕を上げられたようで、短時間で細かい細工をされました。塚原さんは「伝統芸能のコマの曲芸」をされる人ですが、今回は「がりがりトンボ」でした。

今回のイベントも大変好評で、当然のことながら「また来年も・



がりがりトンボ

・・・」という声を聞いて帰りました。このネットワークが来年もこの会場で開催されることはあり得ませんが、エジソンの会としてのイベントについては検討せざるを得ないでしょうね。形を変えていきながら・・・。



くるくるレインボーは大人気

<文責：華井>

いろいろなイベントに派遣依頼が来ています

前回も書きましたが、秋になると『文化の秋』ですかね。サイエンスのイベントも夏以上に派遣依頼が舞い込んでいます。主なものを書き上げると以下の通りですが、10月18日の Rapport 祭りは岐阜市の金公園で、『人工イクラで遊ぼう』『ペットボトルの空気砲』『ストローの竹とんぼ』『スライムで遊ぼう』を企画しています。

11月1日の岐阜市中央青少年会館は『化学マジックのショー』と「三角すいの万華鏡」「遠くへ飛ばそう紙飛行リング」を、3日の香久山小は『化学マジックのショー』と「ペットボトルの空気砲」「CDのホバークラフト」「トロフルックス」「発泡スチロールで表札作り」等々。7日の松枝小は「ペット

10月18日 Rapport 祭り(岐阜市)

31日 各務原市那加第二小

11月1日 岐阜市中央青少年会館

3日 日進市香久山小

7日 羽島市サイエンスセミナー
笠松町松枝小

8日 カラフルタウン15周年

14日 関市金竜小

岐阜市芥見南公民館

15日 各務原市野畑子ども会

21日 ぎふサイエンスフェスティバル

22日 岐阜市まるごと環境フェア
瑞浪市おもしろ科学館

23日 名古屋市でんきの科学館

29日 ネットワーク栃尾

12月3日 大野町北小

5日 羽島市サイエンスセミナー
瑞穂市古橋南子ども会

6日 豊明市大宮小

ボトルマジック」と「バランストンボ」が予定されています。

8日のカラフルタウンの15周年記念イベント

はサイエンスショーは「化学マジック」が2回と「液体窒素」が1回の合計3回、「くるくるレインボー」「ペットボトルマジック」「CDでホバークラフト」が予定メニューです。

21日のぎふサイエンスフェスティバルはメンバ

ー総動員を予定しています。「ホバークラフトに乗ろう」「アミノ酸飲料で手形をとろう」「くるくるレインボー」「バランストンボを作ろう」「ビー玉オルゴール」「ビー玉万華鏡をつくろう」「らせんのモビール」ですが、準備の品物だけでパニックになりそうです。

22日の岐阜市まるごと環境フェアは「CDでホバークラフト」「ペットボトルの空気砲」「ストローの竹とんぼ」を『捨てればゴミ、工夫すればサイエンス』

を提案する予定です。このイベントは小学校3年の「社会」の教科書でも取り上げられているそうです。

瑞浪市と名古屋市の科学館はどちらも『化学マジックのサイエンスショー』です。これから摩擦電気の起こりやすい季節ですから、「電気クラゲ」なんかが良いですね。

12月19日(土)は岐阜市科学館で『青少年のための科学の祭典』が予定されています。「液体窒素の極低温の世界」のサイエンスショーは予定していますが、「ビー玉オルゴール」や「アミノ酸飲料で手形をとろう」などが候補に上がっていますが、メニューについてはまだ検討中です。

〈文責：華井〉

十月のサイエンスものづくり倶楽部
【第一二四回】
十月十六日(土)
午後七時より
岐阜市柳津公民館
南館第二会議室

○会場
○月日
○会費 二百円 (子どもだけ)
○メニュー 未定 大人は無料

のご案内



くるくるレインボー

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会



News

No. 82

H. 29. 1. 30

杉山さんが岐阜県子ども支援賞を受賞

子どもたちが楽しんだ「子どもフェスタ IN 本巣」

ぎふ親子ほのぼの推進ネットワーク



この寒いのに液体窒素の実験

昨年11月、私どもの重鎮、杉山雅一さんが岐阜県知事より『子ども支援賞』の表彰を受けました。おめでとうございます。私も一緒に活動している「親子ほのぼの推進ネットワーク」のメンバーになっていただき、是非ともご活躍いただきたいと思います。

さて、この冬は彦根や四日市で積雪40cmとか。なのにこの近辺では積もりもしないなんて、不思議、不思議の世界です。



子どもたちはツリークライミングに挑戦

昨年から数えても台風は来ない、洪水もない、地震もない、津波もない。こんな事珍しいというか、不思議というか。そのうちにひどい災害にたたられるのではないかと嫌な感じがします。

そんな中、隣の本巣市は1月14日(土)真っ白な雪に包まれていました。体育館の中はストーブを焚いていただけたのでいくらか寒さをしのげましたが、「ぎふ親子ほのぼの推進ネットワーク」主催の『子どもフェスタ IN 本巣』が開催されました。前にも紹介しましたように、ネットワークでは県から補助金をいただき、県内5ヶ所で親子が一緒に活動できるイベントを組んでいます。その今年度最後が一色小学校です。白木校長が私の大学の後輩なのでご協力いただき、40人ほどの児童とその保護者が参加してくれました。



始まりの絵本は？

最初は中島さんから『始まりの絵本』。ごらんのように大きな絵本はよく見えますし、中島さんの読み聞かせは子どもたちばかりでなく保護者まで引きつけました。続いてサイエンスショーはこの寒期中、『液体窒素の極低温の世界』でした。ピーカーをさわるのも冷たく、廣瀬さんが苦闘していました(私はしゃべる専門ですので・・・)。でも子どもたちはバナナで釘を打ったり、野菜を凍らせてコナゴナにしたりして驚いていました。



ひっぱたきゴマを上手に回すには

続いてお待ちかねの『ほのぼのの名人体験コーナー』です。まず子どもたちが最初に集まってくるのが「ツリークライミング」です。幸い全員が上れることが分かりましたので、8人ずつのグループに分かれます。ヘルメットをかぶり安全装具を装着すれば格好だけでも一人前です。ロープの安全な扱い方を教えてもらってから始めます。上がって降りてくるのに20分はかかりますので、子どもたちは頑張りました。それを見る保護者は「子どもたちはこんな事もできるんだ」と目を見張ります。校長と教頭は前日に体験していますので、どっしり構えていました。



空き缶タワーを作ろう

いろいろなコマ回しにチャレンジは教科書にも出てくるという「ひっぱたきゴマ」を上手に回していました。何度見てもはたきのようなものでひっぱたくだけでコマが回るのは不思議でなりません。皿回しや懐かしいゴム鉄砲もありました。全部名人の塚原さんの手作りです。



ビー玉万華鏡(杉山さん担当)

るくるレインボー』を作ってもらいました。それぞれ我々が自信を持っておすすめするメニューだけに、保護者の皆さんも特別に作らせてもらって満足そうでした。

この後の活動は、3月11日(土)に岐阜市北部の『マーサ21』で、『グッドフェスタ』を開催し、我々は1時からのサイエンスショーと『ビー玉オルゴール』と『くるくるレインボー』『らせんのモビール』の製作を予定しています。



くるくるレインボーを作ろう

3月5日(日)は

いつものNPOまつり (ふれあい福寿会館)

この時期毎年岐阜市藪田南の『ふれあい福寿会館』で開催される『NPO・ボランティア・生涯学習<子ども・3世代交流>フェスティバル(通称：NPOまつり)』に今年も参加することになりました。今年「防災・被災者支援」をテーマに活動紹介をします。



野ざらしたったディーゼル機関車

で、我々はかつて数年前に実施した「東北大震災・宮城ボランティア支援サイエンス」の成果を報告します。あの津波被害の状況は目に焼ついて離れません。あのときの状況と子どもたちの様子を写真展示します。また、そんなとき「身近の材料で子どもたちが夢中になれるサイエンスものづくり」を覚えてもらおうと、『サラダ油キャンドル』『ストロウブローピン』『発泡スチロールで表札』『ペットボトルで空気砲』を紹介します。

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 62 H. 26. 7. 11



日頃の皆さんの努力にごほうび

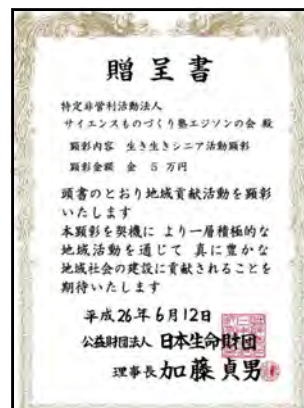
生き生きシニア活動の顕彰 元気なお年寄りになっちゃった

先日6月12日、県庁6階の応接室にて、日本生命財団より「生き生きシニア活動顕彰」として、顕彰金5万円と贈呈書をいただきました。



ニッセイ財団より贈呈書

これは日本生命財団が昭和54年から実施しているもので、今年は児童・少年の健全育成分野に県内で5団体、生き生きシニア顕彰分野で4団体に授与されました。私たちが児童・少年の健全育成分野に貢献しているつもりですが、何十万も補助してもらわないといけないのでこれで良いのかと思いました。



しかしながら、「生き生きシニア顕彰か」、という思いはありますね。生涯現役で若いつもりでいたのですが、自分以外の人から見ると十分にシニアになっているようです。とは言っても、5万円は大金ですよ。年間100万円にも満たない我がNPOの予算からすれば大きなお金ですので有効に使っていききたいと思います。



NHKのローカルニュースに出ました

いよいよ夏休みです

サイエンス教室は大忙し

7月に入りました。夏休みは子ども会の活動が活発になるだけでなく、図書館や公民館などが子どもたちを集めるためにいろいろな企画をします。ここ10年ぐらいはサイエンス教室に人気が集まっています。

テレビの番組や米村デンジロウさんの活躍などで、子どもたちのおもしろサイエンスに対する興味は大変大きく、また、親さんたちも夏休みの宿題の手助けになればと思われるのか、とにかく我々の出前授業はほとんど連日組まれています。「そんなに毎日に疲れるほど引き受けなければ良い」という向きもありますが、毎年実施されているところもありますし、「せっかくの依頼なので受けるしかないか」というのもあり、結局こうなってしまう。



発泡スチロールで表札作り

写真は先日の中部学院大学各務原校舎で行われた「かがく・さんすうアカデミー」の様子です。当日のNHKのローカルニュースに流れたと聞きましたが、人工イクラの原理には記者さんも興味をそそられたようでしっかりメモをして行かれました。我々の4つの『人工イクラで遊ぼう』『発泡スチロールで表札作り』『プラバンで遊ぼう』『ペットボトルで空気砲』にはたくさんの客が溢れ、200人分が予定の1時間前になくなってしまいました。

<文責:華井>

4. ベルマーク教育助成財団の支援

- 東日本大震災の慰問
- へき地学校理科実験教室

宮城県村田町へ「サイエンスはいらんかな？」

被害は想像以上 そこからの復興を目指して



安藤教育長にボランティアの成果を報告

広瀬弘会員の発案から動き出した東北へのサイエンス出前授業。実現しました。8月2日、夜10時、広瀬弘・杉山雅一・磯部好史・近藤勇・坂井田正光・坂井田定雄・丹羽敏朗各会員と私、それに日帰りの強行日程で参加した竹市勲会員の9人が集まり、片

レールのなくなった線路に残る機関車



道700km、9時間の長旅でした。さすがに遠かったですね。宮城県でも仙台より南の村田町だったんですが・・・。

今回はベルマーク教育助成財団から10万円の助成をいただきましたし、岐阜市教育委員会と中日新聞社から後援をいただきました。現地では村田町の教育委員会さんの全面的なご協力で村田町第二小学校と村田町中央公民館の2ヶ所で理科実験出前講座を実施しました。

村田町は海岸ベリの町から山一つ隔たっていますので津波の被害を受けることなく、建物の被害があったものの5ヶ月経っていますので外見上はそれほど見えませんでした。しかし、海岸ベリの隣町は小学校が1つ完全に廃校になっていましたし、写真のように線路にはレールがなくなって機関車だけが止まっている光景が見られました。敷石だけが残る家や1階が空洞になっている家、墓石が全部倒れていたり、塩害で雑草だけが生えている田んぼなど、言葉に表せない光景を目の当たりにしました。仙台空港まで視察してきました。

でも、子どもたちは元気でした。「子どもたちから元気ももらいました」という流行語のような言葉がありました。どこの子どもたちも「不思議なこと」「楽しいこと」には体全体で興味を示してくれます。化学マジックには大きな歓声を上げてくれますし、一生懸命手を挙げて自分をアピールしてくれます。素直な喜びが伝わってきて大変ありがたく感謝でいっぱいでした。



竹市さんを含む9名で宮城県村田町でサイエンス

いつものように化学マジックの後は「表札づくり」「ブンブンごま」



宮城県村田町中央公民館にて参加者と

「サラダ油キャンドル」「ペットボトルの空気砲」「ストローで竹とんぼ」のものづくりを実施しました。我々の

コンセプトである『捨てればゴミ、工夫すればサイエンス』を理解していただけただろうか・・・。でも、楽しかったことは事実だし、そこから何かを掴んでいただけただけではないかと思えます。

<文責：華井>

九月のサイエンスものづくり倶楽部
【第七十九回】
のご案内
○月 日 九月十七日(土) 午後七時より
○会 場 岐阜市柳津公民館北館第4学習室
○会 費 二百円
○メ ニ ュー ・ 検 討 中
○持 ち 物 はさみ

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 48 H. 24. 4. 8



東日本大震災復興支援

「サイエンスはいらんかな？」 春休みサイエンス教室

宮城県村田町・山元町で



村田町中央公民館・参加者たちと記念写真

昨年8月に続いて東北宮城県村田町と山元町へ、3月31日・4月1日に行ってきました。今回は左の写真のように、廣瀬弘・近藤勇・坂井田正光・坂井田定雄・眞田直子・日比野きみ江、丹羽敏朗・前原雅樹・竹村竜太郎と私の10人でした。

どちらの会場も子ども達35



佐藤・村田町長も実験



見えない糸はあるの？

人程とそれ以上に熱心な大人たち20人程で活気に溢れました。2回目になる村田町では町長さんが日曜にもかかわらさずごあいさつをいただいた上、サイエンスショーを体験されていられました。

また、山元町では災害臨時FM放送『リンゴFM』が会場と同じ場所に設営されていて、そのプロデューサーと可愛い女の子が取材をしていました。すべての実験ブースでインタビューをし、後で編集して放送してくれるとのことでした。



山元町教育委員会の方々と

実験メニューは、『液体窒素の極低温の世界』のサイエンスショーの他、「プラバンで遊ぼう」「風船電話で遊ぼう」「紙コップがジャンプ」「CDでホバークラフト」「ビー玉で逆さごま」「ペットボトルマジック」「らせんの不思議・トロフルックス」「バランストンボを作ろう」の8つの実験ブースを展開しました。特に好評だったのは竹村君のやっていたペットボトルマジックでした。若いからなのか、マジックが良かったのか、ペットボトルの色塗りが受けたのかはわかりませんが…。また、トロフルックスは人気はあるのですが、作るのも平らに潰すのも難しそうでした。3分の1ぐらいは壊れていたような気がします。帰りに風船電話を大事そうに抱えていく子ども達がありました。 <文責：華井>



風船電話でモシモシ・山元町



バナナで釘を打ってみよう・山元町

災害の現場では

未だ回復せず道半ば グランドに漁船が3艘そのまま

東日本大震災の被害状況も視察してきました。前回は山元町から仙台空港まででしたが、今回は朝6時に到着したこともあって多賀城市まで足を伸ばしました。復興は民間企業の施設などはほぼ整い、活発に産業が動いているように思いましたが、廃校になった小中学校や公的な施設ではそのまま、



廃校になった関上中学校に慰霊碑

整備するのは後回しという感じでした。

それよりも今しなればならないことからやっているという感じ。

問題になっているガレキや廃棄物については、1年が過ぎた今でも、燃焼できるものとそうでないものの区別をただけで、その量は膨大でうずたかく積み上げられたままでした。その処理について受け入れを反対する人々に「現場を見てきなさい」と言いたい。「みんなで助け合わなければ日本は」などと

声高に言うくせに、イザ自分のことになると反対しか言わない。日本人の悪い癖なのでしょう。『まず隗(カイ)より始めよ』という中国の故事があります。自ら実行したものだけが評価されるのです。

津波の被害にあった学校は、児童生徒が避難したり仮設住宅にいてもあるのでしょうか。人の生活の跡は見られませんでした。名取市の関上(ゆりあげ)中学校では十数名の被害を受けた生徒の慰霊碑が建てられていましたし、グランドには3艘の漁船がそのままでした。そんなのを片付けるよりも生活の再建が優先されると感じました。



中学のグラウンドに漁船がそのまま



ボランティアの手で花壇が

また、昨年視察した山元町

の山下第二小学校では周囲はきれいに清掃してありましたし、花壇にはボランティアの手でパンジーが植えられていました。しかし、校舎内までは手が届いていません。海岸まで100m足らずの砂浜があり松林がある『白砂青松』の風光明媚な理想的な学校に今は子ども達は住めません。海岸近くを走るJRの常磐線に放置してあったディーゼル機関車はさすがに撤去してありましたし、常磐線そのものも山沿いに迂回して敷設されると聞いています。従って住宅地もライフラインがそのようにしか整備されないのですから、山沿いに再建されると言うことです。学校もそうなるのでしょうか。

ただ、その時間、小学校の児童たちはちょうど下校時刻で、迎えに来た保護者の車で全員避難できていたそうです。津波は2階まで来たそうで、1人残った校長は2日間出られなかったと来合わせた地元の方から伺いました。不幸中の幸いというか、良かったねと思わず漏らしました。

<文責：華井>

四月のサイエンスものづくり倶楽部

【第八十六回】

のご案内

○月 日 四月二十一日(土) 午後七時より

○会場 岐阜市柳津公民館北館第4学習室

○会費 二百円

○メニュー ・ガチャガチャケースのコマ?

他 未定

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会

News

No. 57 H. 25. 11. 3



ベルマーク教育助成財団の

理科実験教室をやってきました

石川県七尾市北星小と高山市朝日小

テレビカメラも注目



テレビカメラ2台の注目

夏の奥飛騨理科教室に続いて、ベルマーク教育助成財団の支援で、石川県七尾市立北星小学校と高山市立朝日小学校で理科実験教室を開催してきました。

北星小は9月30日に廣瀬・杉山・丹羽・華井の4人が参加しました。石川県ではこうした催しは珍しかったのか、地元のテレビが2台も入り、液体窒素をいとも簡単に扱う廣瀬さんの手の動きに注

目が集まりました。バナナを凍らせているところです。

もちろん子供たちは興味津々。右の写真の通り、真剣なまなざしはかわいさいっぱいです。捨てるしかないペットボトルを使っておもちゃを作るのは初めてのようでした。不用になったCDでホバークラフトを作ったり、ストローで紙飛行リングを作ったり、アミノ酸飲料で手形を採ったり、と忙しい2時間を過ごしました。



ペットボトルで空気砲

高山市朝日小の方は10月27日でした。前夜台風襲来におびえながら小雨の中を秋神温泉に宿泊しました。仲介をしてくれた上田康美さんのお陰で美味しい『きのこ鍋』を賞味しましたし、翌日は『ツリークライミング』なるものを初体験しました。上田さんはカナダ人のジョン・ギャスライトさんの直弟子で、インストラクターをしておられます。さすがに廣瀬さんは身のこなしも軽やかに10mほど登られましたし、日比野さんや眞田さんご夫婦ともにクリアされました。小生はちょっと身を削る必要があったようで、完全に『ナマケモノ』状態でした。



ツリークライミングに挑戦



花をコナゴナに

さて、午後からは理科教室。写真のように親子で参加された

方には特に好評でした。やはり、液体窒素を体験するのは特別のことのようです。バナナで釘を打つのはテレビで知ってはいても目の前で見ると不思議が増します。ただ、このバナナを欲しがるのはどこも一緒です。もちろん食べさせませんでした。ものづくりは『コピックで指のレプリカ』と『くるくるレインボー』『三角すいの万華鏡』『発泡スチロールで表札作り』『ペットボトルマジック』とやや難しいのに偏りすぎた嫌いがあります。案外『紙飛行リング』や『ストローで竹とんぼ』あたりがあると小さな子供たちにもっとうけたのではないかと反省しています。

<文責・華井>

NPO法人 サイエンスものづくり塾 エジソンの会



News

No. 66 H. 27. 1. 8

新年あけましておめでとうございます

大好評でした『離島サイエンス』

三重県鳥羽市答志島

新年あけましておめでとうございます。今年もNPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会の活動にご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



鳥羽市・答志小の校長先生

昨年私たちが活動をマスコミに取り上げられる機会が多く、注目されてきたようです。6月の『ニッセイ生き生きシニア活動顕彰』

に取り上げられ、さらにはローカルとはいえ、NHK岐阜のニュース番組に5分間も放送していただきました。これも日頃の皆さんの地道な活動とご協力ご支援が評価して



液体窒素の極低温の世界・桃取小

いただけただけのお陰と思い、改めて皆さんに感謝を申し上げます。

ところで、我々の活動は元々そんな派手なものではなく、『サイエンスの楽しむ姿が見たい』『分かったと言う笑顔が見たい』『工夫を見つけられるようアドバイスをしたい』そんな思いで始めた活動です。ですから、驕ることなく、謙虚な気持ちで皆さんにご奉仕できたらと願っています。

さて、昨年12月の活動の報告ができていません。念願の『離島サイエンス』に行ってきました。まだ未開拓の三重県に、できれば離島の子どもたちにふれ合いたいという願いで、鳥羽市の離島、答志島の答志小と桃取小に行ってきました。答志小では100人ほどの子どもたちとていねいに液体窒素の実験をやっていたら時間オーバーで、ものづくりを楽しんでもらうという企画が中途半端に終わってしまいました。この点は深くお詫びするとともに



ビー玉万華鏡を作ろう

反省しています。

午後からの桃取小は20人ほどの学校でしたので何をやるにしてもスムーズで、ものづくりも「ビー玉万華鏡」「くるくるレインボー」「紙飛行リング」を楽しんでもらえました。どこかの子ども会ぐらいの数ですから、和やかな良い雰囲気でした。



桃取小にて

どちらの学校も「液体窒素」に触れるのは初めてのことのようで、校長先生は大変喜んでおられました。でも私たちはベルマーク教育助成財団の援助で実施しているに過ぎないので、私たちがこういうチャンスをいただいたことにもっと感謝しなければいけないと思いました。とは言いつつも、「来年はどこへ行こうか」などと口にはしています。三重県にもたくさん島はありますし、愛知県にもあります。もっとも「離島」にこだわる必要はありませんよね。

<文責：華井>